

**4K 放送用カメラ対応フィールドズームレンズ 2 機種を発売  
長焦点距離・高倍率ズームと 4K を超える高い光学性能を実現**

キヤノンは、世界最広角<sup>※1</sup>、世界最長<sup>※1</sup>の焦点距離と世界最高<sup>※1</sup>のズーム倍率を実現した放送用フィールドズームレンズ“UHD-DIGISUPER 122”と、長焦点距離・高倍率で幅広い撮影領域をカバーする“UHD-DIGISUPER 111”を、2019年2月下旬より順次発売します。



UHD-DIGISUPER 122



UHD-DIGISUPER 111

新製品 2 機種は、幅広い焦点距離とズーム倍率、高い操作性を備えながら、4K を超える高い光学性能<sup>※2</sup>を持ち合わせた放送用フィールドズームレンズです。広角から望遠まで高解像で色再現性に優れた描写ができ、広い競技場でのスポーツ中継やコンサートなどの屋外イベントなどにおいて、臨場感のある高精細な映像の撮影を実現します。

**■ 超広角から超望遠まで幅広い焦点距離をカバーする高倍率ズーム**

4K を超える高い解像力を持ちながら、“UHD-DIGISUPER 122”は世界最広角<sup>※1</sup>の広角端 8.2mm から世界最長<sup>※1</sup>の望遠端 1000mm の焦点距離で世界最高<sup>※1</sup>の 122 倍ズームを実現したキヤノンの放送用フィールドズームレンズにおけるフラッグシップモデルです。また“UHD-DIGISUPER 111”は、焦点距離 8.3mm から 925mm の 111 倍ズームで、従来機種「UHD-DIGISUPER 86/UHD-DIGISUPER 90<sup>※3</sup>」に対し、さらなる高倍率化を実現しています。

**■ キヤノン独自の光学技術により 4K を超える高い光学性能を実現**

レンズの最適配置や高度な部品精度・組み立て精度を追求することで、4K を超える高い光学性能を達成しており、画面中心から周辺部の隅々まで、高い解像力と高いコントラストを実現する高精細な映像撮影ができます。また、放送用レンズとして初めてキヤノン独自の特殊コーティング「ASC<sup>※4</sup>」を採用することにより、フレアやゴーストを大幅に抑制しており、放送用映像機器市場において普及が進んでいる HDR<sup>※5</sup>や WCG<sup>※6</sup>の映像撮影に適しており、抜けの良い高階調の映像表現が可能です。

製品名	希望小売価格	発売日	生産台数
UHD-DIGISUPER 122	オープン価格	2019年4月下旬	合計 25 台/月
UHD-DIGISUPER 111		2019年2月下旬	

※1 2/3 型センサー搭載の 4K 放送用カメラ対応フィールドズームレンズにおいて、2018年9月13日現在。キヤノン調べ。  
 ※2 色ずれや色にじみをはじめとする諸収差を抑制し、4K (3840×2160 画素) センサーに十分対応する、高い解像力と高いコントラストを持つ鮮鋭感のある映像を撮影できる性能。キヤノン独自の光学技術を採用することで達成。  
 ※3 「UHD-DIGISUPER 86」(2016年5月発売)は86倍ズーム、焦点距離は9.3~800mm。「UHD-DIGISUPER 90」(2016年2月発売)は90倍ズーム、焦点距離は9~810mm。  
 ※4 Air Sphere Coating の略。空気を含んだ超低屈折率層を蒸着膜層の上に形成する特殊コーティング。  
 ※5 High Dynamic Range の略。映像の明部と暗部の輝度差(ダイナミックレンジ)を向上させる技術。  
 ※6 Wide Color Gamut の略。映像の色域(カラーガンマ)を広げる技術。

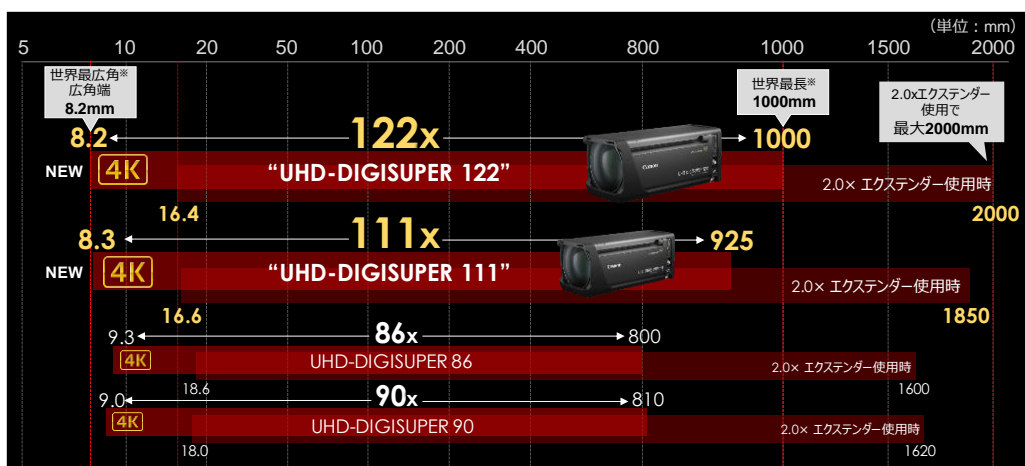
- 報道関係者のお問い合わせ先 : キヤノン株式会社 広報部 広報課 03-5482-3888 (直通)
- 一般の方のお問い合わせ先 : キヤノンマーケティングジャパン株式会社  
イメージングソリューション営業部 03-3740-3304
- 報道関係者用ホームページ : e-pr.canon.jp ● 放送・業務用映像機器ホームページ : canon.jp/bctv

## <UHD-DIGISUPER 122/UHD-DIGISUPER 111 の主な特長>

### 1. 超広角から超望遠まで幅広い焦点距離をカバーする高倍率ズーム

- ・“UHD-DIGISUPER 122” は、画面の隅々まで 4K を超える高い解像力を持ちながら、2/3 型センサー搭載の 4K 放送用カメラ対応フィールドズームレンズとして世界最広角\*の広角端 8.2mm から世界最長\*の望遠端 1000mm の焦点距離を実現。122 倍の高倍率ズーム撮影ができ、幅広いシーンで 4K 撮影ニーズに対応。
- ・“UHD-DIGISUPER 111” は、“UHD-DIGISUPER 122” と同様、画面の中心部から周辺部に至るまで 4K を超える解像力を保持しながら、8.3mm から 925mm の長焦点距離の 111 倍ズームで、従来機種に対し、さらなる高倍率化を実現。
- ・焦点距離を 2 倍に引き上げるエクステンダーをレンズ本体に内蔵しており、“UHD-DIGISUPER 122” では望遠端の焦点距離を 1000mm から 2000mm へ、“UHD-DIGISUPER 111” では望遠端の焦点距離を 925mm から 1850mm へ切り替えることが可能。また、内蔵エクステンダー使用時でも、全ズーム域において 4K 放送用カメラに対応する高い光学性能を発揮するため、幅広い撮影領域における 4K 映像制作に貢献。

※ 2/3 型センサー搭載の 4K 放送用カメラ対応フィールドズームレンズにおいて。2018 年 9 月 13 日現在。キヤノン調べ。



キヤノンの放送用フィールドズームレンズ（4K・2/3 型カメラ対応）の焦点距離比較

### 2. キヤノン独自の光学技術により 4K を超える高い光学性能を実現

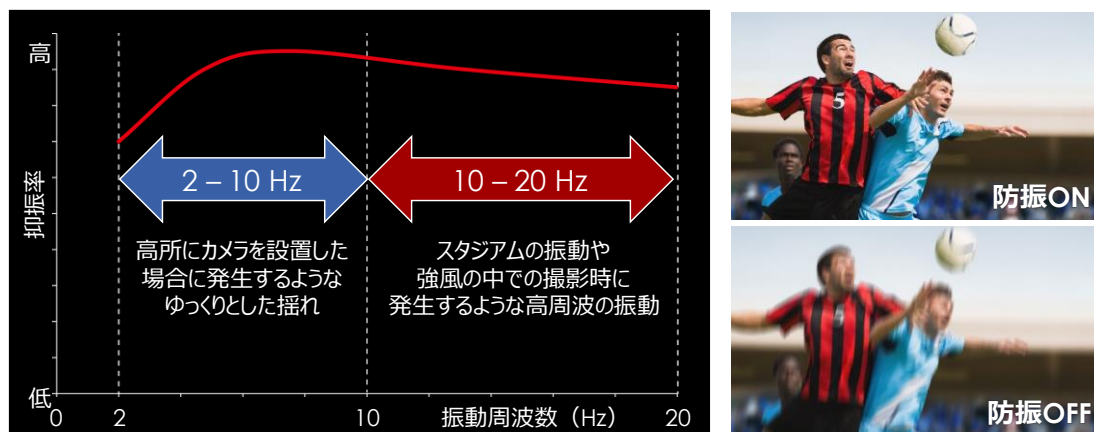
- ・従来の放送用フィールドズームレンズに対し広角化や高倍率化を図りながらも、キヤノン独自の高い光学技術により、幅広いズーム域において画面中心から周辺部の隅々まで、高い解像力と高コントラストを実現。
- ・最新の光学設計技術や光学材料の採用に加え、大口径の球面レンズにおける高い加工技術により、画面の隅々まで優れた色再現性を達成。蛍石や UD ガラスを多用するとともに最適配置することにより、色収差を良好に補正。高倍率ズームでありながら、色にじみや輪郭に色づきの少ない美しい映像撮影を実現。
- ・キヤノンの EF レンズで採用しているキヤノン独自の特殊コーティング「ASC」を放送用レンズとして初めて採用。これによりフレアやゴーストを大幅に抑制。放送用映像機器市場で普及が進んでいる HDR や WCG の映像撮影に好適で、抜けの良い高階調の映像表現が可能。
- ・カメラ側に備えられている ITU-R BT.2020\*1 色域の映像の色収差を高精度に補正する機能に対応するため、ITU-R BT.2020 ベースの色収差補正データを搭載。4K カメラ\*\*2 装着時に画面隅々まで高い色再現を可能にし、より高品位な画づくりに貢献。

\*1 ITU（国際電気通信連合）策定の UHDTV 放送方式の映像信号を規定する勧告。HDR/WCG に対応。

\*2 すべてのカメラに色収差補正機能が備わっているわけではありません。

### 3. より安定感のある 4K カメラ撮影を実現する高い精度の信頼性と快適な操作性

- 幅広い周波数帯で高い抑振率を実現するキヤノン独自のシフト式光学防振機構を搭載しており、わずかな揺れが映像に大きく影響を与えるシビアな 4K 撮影時においても揺れの少ない滑らかな映像が提供可能。



新製品 2 機種種の振動周波数帯と抑振率の関係、および防振 ON/OFF 時の比較

- 高倍率化と 4K を超える高い光学性能を確保しながら、従来の HDTV 対応放送用フィールドズームレンズ<sup>※1</sup>と同程度の機動性と運用性を確保。従来の撮影スタイルを継承しながら 4K 制作への移行が可能。
- 広角側で、マクロコントローラーからマクロを電動で操作することでぼかし効果が表現できる「エクステンシブ・デフォーカス」機能を標準装備<sup>※2</sup>。望遠側のフォーカス操作によるぼかし表現と合わせて多様な映像表現や撮影演出が可能。

※1 「DIGISUPER 95」(2012 年 3 月発売)の外形約 250.6 (幅) × 255.5 (高さ) × 610 (全長) mm。

※2 「エクステンシブ・デフォーカス」機能はレンズに備わっていますが、操作にはオプションのマクロコントローラー「MCJ-S02」(別売り)が必要です。

#### <ご参考>

2018 年 9 月 14 日 (金) から 18 日 (火) までオランダ・アムステルダムで開催される国際放送機器展「IBC 2018」のキヤノンブースにおいて、“UHD-DIGISUPER 122”を展示します。

#### <放送用レンズの市場動向>

日本や欧米諸国では、デジタルテレビ放送の普及に伴う放送機器の HD 化がほぼ完了し、近年では、4K 放送実用化に向けた取り組みが始まるとともに、4K 対応機材の導入が進行しつつあります。一方、新興国では、今後デジタル放送への完全移行が予定されている国も多くあり、一部の新興国では 4K 対応機材への移行も始まっています。(キヤノン調べ)

### <UHD-DIGISUPER 122の主な製品仕様>

<b>型名</b>		UJ122×8.2B ISS
<b>対応カメラ</b>		2/3型 4K カメラ / 2/3型 HD カメラ
<b>ズーム比</b>		122倍
<b>焦点距離</b>		8.2～1000mm 〔2倍エクステンダー使用時 16.4～2000mm〕
<b>最大口径比</b>		1:1.7 (8.2～340mm)、1:5.0 (1000mm) 〔2倍エクステンダー使用時1:3.4 (16.4～680mm)、1:10.0 (2000mm)〕
<b>画角 (包括角度)</b>	<b>ワイド端</b>	60.7° × 36.5° (8.2mm) 〔2倍エクステンダー使用時 32.6° × 18.7° (16.4mm)〕
	<b>テレ端</b>	0.55° × 0.31° (1000mm) 〔2倍エクステンダー使用時 0.28° × 0.15° (2000mm)〕
<b>最近接時の 撮像範囲</b>	<b>ワイド端</b>	314.8 × 177.1cm (8.2mm) * 〔2倍エクステンダー使用時 157.4 × 88.6cm (16.4mm)〕
	<b>テレ端</b>	2.7 × 1.5cm (1000mm) * 〔2倍エクステンダー使用時 1.4 × 0.8cm (2000mm)〕
<b>最至近撮影距離</b>		3.0m*
<b>外形寸法 (幅×高さ×長さ)</b>		約 250.6 × 255.5 × 637.4mm
<b>質量</b>		約 26.6kg

※マクロ使用時には、最至近撮影距離及び最近接時の撮影距離が変わります。

### <UHD-DIGISUPER 111の主な製品仕様>

<b>型名</b>		UJ111×8.3B ISS
<b>対応カメラ</b>		2/3型 4K カメラ / 2/3型 HD カメラ
<b>ズーム比</b>		111倍
<b>焦点距離</b>		8.3～925mm 〔2倍エクステンダー使用時 16.6～1850mm〕
<b>最大口径比</b>		1:1.7 (8.3～340mm)、1:4.65 (925mm) 〔2倍エクステンダー使用時1:3.4 (16.6～680mm)、1:9.3 (1850mm)〕
<b>画角 (包括角度)</b>	<b>ワイド端</b>	60.1° × 36.0° (8.3mm) 〔2倍エクステンダー使用時 32.3° × 18.5° (16.6mm)〕
	<b>テレ端</b>	0.59° × 0.33° (925mm) 〔2倍エクステンダー使用時 0.30° × 0.17° (1850mm)〕
<b>最近接時の 撮像範囲</b>	<b>ワイド端</b>	311.6 × 175.3cm (8.3mm) * 〔2倍エクステンダー使用時 155.8 × 87.7cm (16.6mm)〕
	<b>テレ端</b>	2.9 × 1.6cm (925mm) * 〔2倍エクステンダー使用時 1.5 × 0.8cm (1850mm)〕
<b>最至近撮影距離</b>		3.0m*
<b>外形寸法 (幅×高さ×長さ)</b>		約 250.6 × 255.5 × 637.4mm
<b>質量</b>		約 26.6kg

※マクロ使用時には、最至近撮影距離及び最近接時の撮影距離が変わります。